

たるぼとプロジェクト

小樽市子どもの読書活動推進計画
市立小樽図書館子ども読書事業

令和4年事業報告及び令和5年度取組案



市立小樽図書館

たるばとプロジェクト

下線ありは重点事業

u003c/pu003e

取組分類	事業名	内容	令和4年度取組案	令和4年度実績	令和4年度自己評価	令和5年度取組案
1子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供						
本との出会いを生み出す取組	小樽市ブックスタート事業	小樽市ブックスタート協議会の構成員として、保健所で実施する乳幼児健診時に絵本の贈呈や紹介などを行う。	・新型コロナウイルス感染症対策のため、当分の間は、引き続き読み聞かせ等は行わず、絵本の贈呈のみを行う。新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、読み聞かせ等の再開を検討する。	・保健所で実施した10か月児健康診査において、絵本の贈呈のみを行い、絵本の読み聞かせ等については、新型コロナウイルス感染症対策のため行わなかった。 ・資料展示（R3.10/30～11/25）で発行した「0、1、2、3才に おすすめの絵本」リストを継続して掲示、配付した。	・おすすめの絵本のリストをブックスタートコーナーの近くに掲示し、常時持ち帰れるように配置したところ、子育て世代や祖父母世代の利用が多く見られた。	・関係各機関と連携し、絵本の贈呈以外の読み聞かせや絵本の紹介等について、再開の時期や内容を検討する。
	たるびよパック	ブックスタート時におすすめの本をセットにして貸し出す。	・サービスを定着させるため、 <u>掲示物を工夫するなど、利用促進のPRを実施する。</u>	・3種5パックを作成し、えほんコーナー内に設置した ・合計37回貸出	・母親だけでなく、父親や祖父母が利用する様子も見られた。	・同様に実施する。 ・たるびよタイムに初めて参加する家庭があれば声掛けするなど、機会を見つけ口頭でもたるびよパックを紹介する。
	たるびよタイム	乳幼児と保護者を対象に、読み聞かせや手遊びを取り入れたおはなし会や乳幼児向けの絵本の紹介を行う。	・引き続き、定員を設けた事前予約制や北海道スタイルに沿った対応をし、参加者が、安心して楽しめるよう実施する。	・人数を制限した事前申込制で感染症の予防対策を行い整理休館日以外の毎週金曜日（午前11時～11時半）に実施した。 全39回 計192人参加。	・ボランティア協力の申し出があり、協力して4回実施した。 ・担当外の職員も協力し、各回の内容をより幅広くすることができた。	・感染症の状況に配慮しながら、5月に感染症対応の制限が緩和される以降、参加人数を制限せず、申込不要にするなど、子育て世代が気軽に参加できるよう工夫する。 ・引き続きボランティアによる実施の回を設け、多世代の関わりが持てる場を作る。
	ミニミニブックフェス	表紙が見えるように絵本を展示	・引き続き、利用者と本をつなぐきっかけとなるような選書をし、同様に実施する。	・整理休館日以外の毎週金曜日（午後11時半～午後2時）に実施した。 全39回 各50冊程度	・親子だけでなく、市内幼稚園からの利用も見られた。 ・「こんな絵本があったんだ！」という声も寄せられ、利用者と絵本との出会いを創出できた。	・同様に実施する。

取組分類	事業名	内容	令和4年度取組案	令和4年度実績	令和4年度自己評価	令和5年度取組案	
本を楽しむ場の提供	たるばとクラブ	季節や行事に合わせて、幼保や小学生を中心とした子ども向けのイベントを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、定員を設けた事前予約制や北海道スタイルに沿った対応をし、参加者が、安心して楽しめるよう実施する。 定員を設け、参加人数が制限されることを生かし、より深い内容になるよう工夫する。 ボランティアや他機関とも連携する。 	<ul style="list-style-type: none"> 人数を制限した事前申込制で感染症の予防対策を行い、第1・第3土曜日（午後2時～3時）に実施した。 全22回 計214人参加。 市制100周年事業として、和食料理人と協力し、9/4「たるばとクラブスペシャル海の資源を考えよう」を実施。14人参加 2月に商大のサークルと協力し、「たるばと雪あかりの路」を実施。2回24人参加 	<ul style="list-style-type: none"> 各回で内容を工夫し、ボランティアと連携して実施することができた。 YA司書養成講座と連動して中高生が企画して展示を実施するなど、中高生世代に活動の場を提供することができ、展示内容も好評であった。 大学生から協力の申し出があり、活動の場を提供することができた。大学生と接する機会に参加した子どもたちも喜んでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 5月に感染症対応の制限が緩和される以降、参加人数を制限せず、内容によって申込不要にするなど、新たな参加者の開拓に努める。 引き続きボランティアによる実施の回を設け、多世代の関わりが持てる場を作る。 	
	【R4新規】 中高生向け司書講座	中学生・高校生を対象に、図書館（司書）の仕事の紹介や実習を行う	<ul style="list-style-type: none"> 6月から隔月土曜日午後2時から3時に実施予定 ボランティアや他機関とも連携する。 定例行事や広報などYA世代に活躍の場を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前申込制で6月以降隔月土曜日に実施した。（午後2時～3時）全5回14人参加。 	<ul style="list-style-type: none"> WEB申込を取り入れるなど、中高生世代が参加しやすいよう工夫した。 ボランティアや他機関と連携し、内容を深めることができた。 毎回実施の様子をSNSで発信し、市外からの反応も多数寄せられた。 参加者の要望から、R5新規事業となる読書交流会の実施に繋がられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者からの声を反映し、開催月や内容を改善する。 テスト期間を考慮し、7,8,9,12,3月第2土曜日午後2時から3時に実施予定。 	
	【R5新規】 読書交流会	子どもの本を多世代で楽しむ場を提供する					10月～11月 2回予定 読書会やビブリオバトルなど。
	おはなし会	学校/幼稚園/保育所/町内会等からの依頼により、図書館内外の様々な場所で、読み聞かせを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 同様に各機関からの依頼に応じ、各機関の対象者層に応じて内容を更に充実させ実施する。 感染症の状況等、開催に心配がなくなれば、積極的にPRをし、利用につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所全1回20人参加 	<ul style="list-style-type: none"> 実施した1件は、楽しかったと好評であった。 他にも、依頼を受けたが、市全体の感染状況により実施が適わなかったケースが数件あった。 	<ul style="list-style-type: none"> 各機関からの依頼に応じ、各機関の対象者層に応じて内容を工夫し、更に充実させ実施する。 積極的にPRをし、利用につなげる。 	

取組分類	事業名	内容	令和4年度取組案	令和4年度実績	令和4年度自己評価	令和5年度取組案
	子どもシアター劇場 【※R5からたるばとクラブに統合】	年に2回程度、子ども向けの長編アニメ映画を上映する。	・短編映画での開催も考えながら、感染症等の状況により実施を検討する。	・たるばとクラブとして、短編映画の上映を行った。 (10月2回17人参加)	・定例行事として開催することで、参加しやすい日程を設定することができた。 ・併せて関連本を紹介し、貸出利用につなげることができた。	・今後はたるばとクラブと統合し、年1～2回程度、映画の上映を行うことを検討する。
	幼保ブックフェスティバル	依頼があった幼稚園や保育所に200冊程度の本を持参し、読み聞かせやエプロンシアターを行ったり、本の貸出しの機会を提供する。	・同様に依頼を受け実施する。 ・感染症等の状況から、開催に心配がなくなれば、PRをし利用につなげる。	・人が集まる行事の開催を自粛しているため、本事業の利用なし。	・人が集まり、接触が増える事業であることから、積極的なPRを控えた。	・同様に依頼を受け実施する。 ・積極的にPRをし利用につなげる。
	わくわくブック号がやってくる	移動図書館「わくわくブック号」が学校、幼稚園、保育所などを訪問し、車内の見学や図書館の使い方を紹介し、絵本の貸出しを行う。	・同様に、バス内の人数を制限し、実施する。 ・学校を移動図書館のステーションとする運行の試行を継続する。	・小学校3校、中学校1校で12回実施した。 ・学校を移動図書館のステーションとする試行を「わくわくブック号がやってくるプラス移動図書館大作戦」として、9回実施。	・図書館から離れた場所にある地域でも、付近の学校で本事業を実施することにより、本を楽しむきっかけを作ることができた。	・同様に依頼を受け実施する。 ・学校を移動図書館のステーションとする運行の試行は、下半期の本格実施に向けて調整する。
	出張展示会	様々な施設や機関と連携して資料展示会を開催する。	・中学校や高校の図書局などと連携した取組を予定している。	・小学校1校、中学校1校から2件の取組を館内で紹介した。	・学校での活動を公共の場で紹介し、好評であった。	・引き続き幅広く紹介できるよう努める。
	大型絵本・エプロンシアター等の貸出し	学校、幼稚園、保育所、団体等に図書館で所蔵する大型絵本、エプロンシアター、パネルシアター、アニメDVD等を貸し出す。	・引き続き大型絵本選び方ガイドの作成を進める。	・カウンターで312点、学校支援で22点の貸出しをした。	・幼保やボランティアの活動を支援できた。 ・ボランティア団体と連携し、大型絵本選び方ガイドの作成を進めた。	・引き続き大型絵本選び方ガイドの作成を進める。
	貸出文庫	放課後児童クラブや児童デイサービスなどに各施設30～40冊程度を長期間貸し出す。(1か月～1年目安)	・同様に依頼を受け、幅広い内容の本を手に入る機会となるよう選書に配慮して実施する。	・計19施設に累計70回2656冊の貸出しを実施した。	・放課後児童クラブや児童デイサービスなど、それぞれの施設の状況に応じた読書環境支援となる選書や対応を行うことができた。	・同様に依頼を受け、幅広い内容の本を手に入る機会となるよう選書に配慮して実施する。

取組分類	事業名	内容	令和4年度取組案	令和4年度実績	令和4年度自己評価	令和5年度取組案
学校との連携による読書に触れる機会の提供	学校ブックフェスティバル	依頼があった学校に約1,000冊の児童書を広げ、多くの本から選ばれたお気に入りの本の貸出しを行う。	・同様に依頼を受け実施する。 ・感染症の拡大防止に十分に配慮し、一度に参加する人数を考慮して必要であれば同施設で複数回に分けて実施する。	・小学校3校で実施した。	・教職員やボランティアと連携し、子どもと本との出会いを創出できた。 ・開催の様子はSNSで紹介し、市内外から反応が寄せられた。	・同様に依頼を受け実施する。
	職業体験（インターンシップ）	司書の職業体験として本の整理や貸し出しなど、最大4人まで1～2時間程度の職業体験をする機会を提供する。	・利用希望者からの依頼を受けて、利用者と参加者との両方に感染症の危険がないよう、十分に配慮して実施する。	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学校側で接触の多くなる可能性のある行事の申込みは控えているため、申込みがなく中止した。	・学校からの申込みはなかったが、中高生年代向けの行事で同様の内容を取り入れるなど、機会の提供を図った。	・同様に依頼を受け実施する。
	こしょナビ（「調べもの応援タイム」から名称変更）	夏・冬休みなどに司書が本の調べ方についてのアドバイスをする。	・7、8月にのたるばとクラブとして実施予定。 ・小学生を対象にし、新聞を利用して調べ学習で自由研究に役立ててもらおう。	・たるばとクラブとして、調べ学習のガイダンスを行った。（7,8月2回実施 2人参加）	・夏休みの自由研究を想定し、新聞を使って、昔と今の情報を読み比べる内容を用意した。 ・参加者には好評だったが、人数が少なかったため、実施方法や周知の改善が必要だと感じた。	・7、8月にたるばとクラブとして実施予定。 ・学校の長期休業期間中に、館内OPAC説明会を低学年と高学年に分けて実施する予定の他、専用の案内役を設け、随時対応を予定。 ・教員や学校司書と協力し、学校での周知に努める。
	調べ学習利用	学校から依頼を受け、学習の理解を深めるため、図書館での調べ学習の場を提供し、調べもののアドバイスを行う。	・利用事例をたるばとレポートなどでPRし、利用を促進する。	・中学校1校で実施した。 ・YA向けパスファインダー（調べ物の参考書等の紹介）1件を作成し、館内配布とHPで公開した。	・担当教員の要望に沿って内容を決定するなど、柔軟に対応できた。 ・学校図書館にはない資料を使うことで、理解を深めることができたと好評だった。 ・パスファインダーは地域のテーマを取り上げ、YA世代の郷土資料の利用を促した。	・利用事例をたるばとレポートなどでPRし、利用を促進する。
	授業支援	学校からの依頼に応じて、百科事典の使い方、調べ学習、ブックトーク、様々なテーマの本の紹介等を行う。	・同様に依頼を受け実施する。	・小学校4校で6回実施した。	・訪問型図書館見学では、ガイダンス内容の見直しを図った。 ・授業支援の実施から、図書館の利用につなげることができた。	・同様に依頼を受け実施する。

取組分類	事業名	内容	令和4年度取組案	令和4年度実績	令和4年度自己評価	令和5年度取組案
	講師派遣	高文連や学校図書館関係研修に講師を派遣する。	・同様に依頼を受け実施する。	・高文連後志支部図書館リーダー研修1回	・図書館の資料展示についての講義とワークショップを実施し、生徒の活動の幅を広げられたと好評だった。	・同様に依頼を受け実施する。
	施設見学・利用案内	学校/幼稚園/保育所等の依頼を受け、図書館の見学、使い方の案内、読み聞かせ等を行う。	・同様に依頼を受け、来館型での人数を制限して、手指の消毒を確実にするなど、感染症対策を講じながら実施する。	・来館型、訪問型、動画貸出し型の3つのメニューを提供した。 ・従来の来館型は小学校8校10回、訪問型は小学校4校で6回実施した。 ・「バーチャル図書館」の動画貸出し利用はなかった。	・ガイダンスに「一人一台端末」に即した内容を取り入れるなど工夫を凝らし、各学校の状況に応じて対応することができた。	・来館型に設けていた定員を廃止するなど、感染症の状況に配慮しながら、各学校の状況に応じて依頼を受け実施する。
	その他	子どもの読書関連の案内等	・ <u>新1年生向けに利用者カード作成を促す配付物を作成する。</u> ・ <u>YA向けパスファインダーを新たに作成する。</u>	・昨年に引き続き、新1年生への図書館PRは、児童の図書館への来館を促すほどには、感染症の状況が回復していなかったため、中止した。 ・LLブックや子ども向け大活字本など、バリアフリーコーナーの内容を拡充した。	・バリアフリーコーナーは、たるびよタイムでも紹介し、子育て世代にも好評だった。	・新1年生向けに利用者カード作成を促す配付物を作成する。 ・YA向けパスファインダーを新たに作成する。
2子どもの読書活動に関する普及啓発						
	春の子ども読書週間	こどもの読書週間（4/23～5/12）の行事として、おはなし会、展示、ゲーム、人形劇等を行う。	・感染拡大防止に配慮しながら、としょかん発おたる子ども読書の日を含め、集う行事を復活させる。	・児童書貸出利用プレゼント ・資料展示	・関係機関と連携し、資料展示開始日にはオープニングセレモニーと講演会を行った。講演会35人参加 ・申込不要のプレゼントは世代を問わず好評だった。	・としょかん発おたる子ども読書の日を含め、同様に実施する。

取組分類	事業名	内容	令和4年度取組案	令和4年度実績	令和4年度自己評価	令和5年度取組案
啓発事業	としょかん発おたる子ども読書の日	おたる子ども読書の日として、図書館で楽しめる子ども向けのイベントを行う。	・5/5に開催予定 びっくりおはなし会／こぐれけいすけスペシャル／ぐうちよきばあ のワークショップ／司書のおはなし会／たるばとブック フェスティバル／来て！見て！わくわくブック号／どきどき司書体験／資料展示などを予定	・第6回としょかん発おたる子ども読書の日を5/5に開催し、各行事の累計として267名が参加した。 (びっくりおはなし会／こぐれけいすけスペシャル／ぐうちよきばあ のワークショップ／たるばとブックフェスティバル／来て！見て！わくわくブック号／どきどき司書体験／資料展示など)	・感染拡大防止に配慮しながら、集う行事を実施できた。	・5/6に開催予定 びっくりおはなし会／こぐれけいすけスペシャル／森万喜子講演会／ぐうちよきばあのおはなし会スペシャル／たるばとブック フェスティバル／来て！見て！わくわくブック号／どきどき司書体験／資料展示などを予定
情報の発信	学校における読書活動の紹介	市立図書館において、小中学校の学校図書館だよりの展示や読書の取り組みを紹介する。	・事例をPRし、新規開拓につなげる。	・西陵中「読書ゆうびん」として、中学生が勧めるおすすめ本の展示を行った。	・児童・生徒や学校図書館の活動の周知に繋がった。 ・中学生が、お勧めしたい本を自分で選んで紹介したことで、中学生からの発信の場となった。	・事例をPRし、新規開拓につなげる。
	「きっずおたる」の発行	毎月、月初めに子ども向けの事業、行事、おすすめ本等について、紙媒体とホームページ上でお知らせを発行する。	・子どもの興味を引くよう、内容の更なる充実を図る。	・毎月発行した。	・行事の様子や展示の内容を紹介することで図書館の様子がわかりやすいよう工夫した。	・子どもの興味を引くよう、内容の更なる充実を図る。
	学校図書館担当者向け「たるばとレポート」の発行	学校図書館との連携事業やおすすめ本の紹介など学校の読書活動を進めるための様々な情報を紹介する。	・同様に発行する。 ・依頼によって他地域での配付も検討する。 ・更に内容の充実を図る。	不定期で2回発行した。	・学校司書による連載が学校図書館運営に役立つと好評だった。 ・市外からの購読の問い合わせがあり、バックナンバーを配付した。	・同様に発行する。 ・依頼によって市外への配付も検討する。 ・更に内容の充実を図る。

取組分類	事業名	内容	令和4年度取組案	令和4年度実績	令和4年度自己評価	令和5年度取組案
	ホームページ・フェイスブックによる情報提供	ホームページに子ども読書に関わる大人と子ども向けコンテンツを作成し、子ども読書に係る事業などの情報を提供する。	・同様に実施する。 ・YA世代と連携した情報発信にも挑戦する。	・ホームページ：イベントやスケジュールについて随時案内した。 ・フェイスブック：30回のテキストと写真	・突発的な行事の開催を利用者がSNSで拡散するなど、情報発信に新たな面が見られた。 ・情報発信には入念な準備が必要のため、YA世代と連携して挑戦を試みたが時間を十分に確保できず実現できなかった。	・同様に実施する。 ・情報発信については、講座内容を見直し、再挑戦する。
3子どもの読書環境の整備・充実						
市立小樽図書館の環境整備・充実	児童書の充実	より読書に親しむための絵本、読み物、図鑑などの充実をはかる。	・引き続き、収集基準に基づき、利用者のニーズに沿った選書に努める。	・選書に関するアンケートを実施するなど、利用者のニーズの把握に務めた。	・日頃の利用状況を考慮し、ニーズに沿った本を選ぶことができた。	・令和4年度の寄付を生かし、自分のやりたいことに目を向けられるような図書をさらに充実させる。 ・引き続き、収集基準に基づき、利用者のニーズに沿った選書に努める。 ・令和4年度に実施した図書の希望アンケートの内容はSNSを通じて紹介予定。
	資料展示会	様々なテーマで新刊展示、ミニ展示など、さらに読書を楽しめるよう展示を行う。	・様々なテーマで引き続き実施する。	・不定期で16件実施した。 ・作者別、他のイベント関連など多様なテーマを設定した。 ・市内の小学校と連携し、学校の活動を紹介する展示を実施した。	・新たな本との出会いを演出できた。	・様々なテーマで引き続き実施する。
	児童コーナーの整備	親しみやすい児童室とするため、季節に応じた飾り付けや書架づくりを行う。	・引き続き親しみやすい児童室づくりに努める。	・バリアフリーコーナーの見出しを増やした。	・利用者が手にとりやすいよう、児童室全体に表紙を見せて並べた本が配置されるよう配慮した。	・令和4年度の寄付を生かし、図書展示用棚等の導入により、こどもも自分で楽しく本を選ぶようさらに児童室内の配置を工夫する。 ・たるばと文庫コーナーの充実を図る。 ・引き続き親しみやすい児童室づくりに努める。

取組分類	事業名	内容	令和4年度取組案	令和4年度実績	令和4年度自己評価	令和5年度取組案
	デジタルライブラリの充実	小樽の歴史に関する写真や地図などをデジタル化し、WEB上で公開することで、学校における地域学習の支援を行う。	・新規データの作成を進める。 ・利用事例などを紹介し利用促進に努める。	・公開の準備を進めた。	・デジタル化すべき資料の選定を続けた。 ・図書館見学のガイダンスで紹介したところ、実施後の活用報告が寄せられた。	・新規データの作成を進める。 ・利用事例などを紹介し利用促進に努める。
連携による学校図書館の環境整備・充実	スクールライブラリー便による貸出し	学校における読書や調べ学習、授業で使う本の貸出しをする。活用の期間により短期便、長期便、リクエスト便を設ける。	・学校図書館の活動を啓発する取組と捉え、引き続き効果的な実施方法へと改善していく。	・短期便（3か月程度）20校60回3600冊 * 学校図書館の活性化が目的。 ・長期便（半年から1年程度）8校8回2580冊 * 学級文庫での活用のため ・リクエスト便（1か月まで）16校102回1532冊 * 調べ学習や並行読書等、希望の内容に応じて選書。	・各校の希望に応じて柔軟に対応することができた。 ・リクエスト便の要望（地域の自然災害について）がきっかけで、児童が閲覧しやすい郷土資料を新たに作成し、提供することができた。	・令和4年度の寄付を生かし、学校や学校司書と連携してニーズに応じた選書をし、図書の実充をさせる。 ・学校図書館の活動を啓発する取組と捉え、引き続き効果的な実施方法へと改善していく。
	【R4新規】 令和4年度学校図書支援対策事業	読書に苦手意識を持つ児童・生徒に読書の楽しさを伝えることで、生活習慣の改善を図る。	・手軽に手に取りやすい図書や理解しやすい図書を中心にしたセットの貸出しをする。 ・学校ブックフェスティバルでの貸出しをする。	・小学校3校3回120冊 ・中学校3校3回120冊 ・学校ブックフェスティバル3回300冊 ・3月児童展示	・特に児童・生徒の読解力に懸念を抱いている教員からの問合せが多かった。 ・学校司書からは、いつもよりも本を手取る様子が見られるとの報告が寄せられた。	・同様に依頼を受け実施する。
	学校図書館運営相談	学校図書館に不要な図書の選定や蔵書整備方法を説明する。	・同様に依頼を受け実施する。	・小学校1校、中学校1校で実施 ・学校図書館の除架や更新の相談が多かった。	・今後も相談しやすい関係を維持して利用に繋げたい。	・同様に依頼を受け実施する。
	学校図書館クリニック	教員やボランティアと協力しながら、古い本の整理や図書館のレイアウトの変更など学校図書館の改善を支援する。	・同様に依頼を受け実施する。	・人が集まる行事の開催を自粛しているため、本事業の利用なし。	・コロナ禍により、積極的なPRを控えた。	・同様に依頼を受け実施する。

取組分類	事業名	内容	令和4年度取組案	令和4年度実績	令和4年度自己評価	令和5年度取組案
4 子どもの読書を推進するための体制の充実						
子ども読書を支える職員の育成	学校司書支援	学校司書の研究や活動を支援する。また、学校図書・図書館連携会議において、様々な情報提供や読書活動のアドバイスをを行う。	・引き続き、学校司書の目的や状況に応じた支援を図る。	・7名170件実施した。	・学校司書それぞれの状況に応じた支援を行い、学校司書のスキルアップにも貢献した。	・引き続き、学校司書の目的や状況に応じた支援を図る。
	教職員研修	読書活動に関する教職員向けの研修を行う。	・同様に依頼を受け実施する。	・オンライン研修1件	・教職員や学校司書からの要望が多く、教育委員会主催で小樽市学校図書館協議会会長と協力し、オンラインで実施した。	・同様に依頼を受け実施する。
	子ども読書担当職員の研修会参加	北海道学校図書館や後志図書館協議会の講座等、各種研修会に参加し、子ども読書担当職員のスキルアップを図る。	・同様に実施する。	・4～10月絵本・児童文学研究センター ・9月道立図書館（新任職員研修会）	・館内職員と情報を共有し、スキルアップにつながった。	・同様に実施する。
			<p>・定例行事の他、5月にワークショップを予定している。</p>	<p>小樽子ども劇場人形劇サークル「ぐうちよきばあ」との連携事業を実施した。</p> <p>・「ぐうちよきばあのワークショップ」26名参加</p> <p>・「ぐうちよきばあのおはなし会9回合計56名参加</p>	<p>・感染拡大防止に配慮して実施した行事は、参加者に好評であった。</p> <p>・コロナ禍と子どもの生活スタイルの変化により、「ぐうちよきばあのおはなし会」の参加者が減少傾向にある。</p>	<p>・実験的に定例行事の開催日時を変更し、アンケートを実施するなど、参加者増に向けた試行を進める。</p> <p>・秋に「人形劇の会」を予定している。</p>
				<p>・7月にたるばとクラブを予定している。</p>	<p>札幌おはなしの会との連携事業を実施した。</p> <p>7/15たるばとクラブ「ちびっこおはなし会」10名参加</p>	<p>・感染拡大防止に配慮して実施した行事は、参加者に好評であった。</p>

取組分類	事業名	内容	令和4年度取組案	令和4年度実績	令和4年度自己評価	令和5年度取組案
ボランティア関係 団体・機関等との 連携	関係機関・団体などとの 連携や情報提供	・関係機関や団体と連携し、読書活動の推進を図る。 ・読み聞かせボランティア交流会や各種研修会に講師を派遣し、育成の支援を図るほか、様々な情報提供を行う。	・5月にたるばとクラブを予定している	「小樽子どもと本をつなぐ会」との連携事業を実施した。 ・月例会 6回実施。 ・5/7たるばとクラブ「つなぐ会スペシャル」12名参加 ・「大型絵本選び方ガイド（仮）」を作成中	・北海道スタイルで月例会を行い、情報を共有することでそれぞれの活動に役立てることができた。 ・感染拡大防止に配慮して実施した行事は、参加者に好評であった。	・引き続き月例会の実施と「大型絵本選び方ガイド」の作成を進める。
			・8月にたるばとクラブを予定している	「たるBOOK」との連携事業を実施した。 ・8/20「たるBOOKスペシャル」17名参加 ・3/4たるばとクラブ「たるばとおたのしみ会」20名参加	・感染拡大防止に配慮して実施した行事は、参加者に好評であった。	・8月にたるばとクラブを予定している
			【R4新規】	小樽商大学生サークル「小樽笑店」との連携事業を実施した。 ・2/4、2/18「たるばと雪あかりの路」計24名参加	・普段接する機会の少ない大学生と子どもやその保護者との出会いを創出できた。	・5月に感染症対応の制限が緩和される以降、サークル活動の活発化が予想されることから、申し出を受けて実施する。
			・「たる読まっぶ」改訂版の発行を予定している。	・改訂版未発行	・コロナ禍で活動休止の団体が多いため、今年度も改訂版の発行はかなわなかった。	・「たる読まっぶ」改訂版の発行に向けた情報収集を開始する。